

笠は真面目な男だ。人間がいい。人間がいいと演技がそれに出てくる。(小津安二郎)

一人になると急に
日が永くなりますよ……
「東京物語」

小津監督は、僕を俳優にしてくださいと恩人として、僕に映画を教えてくださいました。(笠智衆)

おばさん、あたしいたい誰の子なんです。
おばさん、あたしのお母さんね。
「東京暮色」

鎌倉の映画人

監督小津安二郎と俳優笠智衆

「特別展」

お父ちゃんは僕たちに偉くなれと
言ってるくせにちつとも偉くないんだね。
「生れてはみたけれど」

そんな矛盾な議論はたつてある。
ないのは神様だけだ。
「彼が死んだ」



いろいろお世話になりました。
うむ、幸せに、いい奥さんになるんだよ……
「晩春」

なんでもないことは流行に従う、
重大なことは道徳に従う、芸術のことは自分に従う。(小津安二郎)

2015年9月18日(金)～12月13日(日)
鎌倉市川喜多映画記念館

鎌倉の映画人 監督小津安二郎と俳優笠智衆

日本の映画 日本の心



「秋刀魚の味」(1962)

東京深川に生まれ、青春時代を三重県松阪で過ごした小津安二郎は、松竹キネマ蒲田撮影所に入社し、映画界への第一歩を踏み出しました。その後の小津作品の数々は、日本映画の至宝として、私達を魅了し続け、世界でもその評価は増すばかりです。そして、その小津作品に欠かせない俳優が、笠智衆です。熊本の浄土真宗の寺に生まれ、大学進学で上京した笠智衆は、蒲田撮影所の俳優研究所から撮影所へ入社し、小津作品では第二作となる『若人の夢』(1928年)以来、ほぼすべての作品に出演しました。笠智衆は“日本の父親”として多くの人々に愛され、小津映画を象徴する存在となりました。

本企画展では、ともに鎌倉を愛し、鎌倉に暮らしたゆかりの映画人である監督・小津安二郎と俳優・笠智衆の映画世界を、愛用の品々や映画資料の展示、そして、代表作の映画上映でご覧いただきます。“日本の心”を永遠に伝え続ける珠玉の映画の数々をぜひお楽しみ下さい。



「東京物語」(1953)フランス版ポスター



笠智衆氏愛用の現箱
玉名市草枕交流館所蔵



小津 安二郎
1903.12.12~
1963.12.12



笠 智衆
1904.5.13~
1993.3.16

特別展観覧料金 ()内は団体料金
一般300円(210円) 小・中学生150円(105円)

協力: 松竹株式会社、玉名市草枕交流館、東京国立近代美術館フィルムセンター、オフィス 小津、笠鉄三氏、岩切卓士氏、黒山秀夫氏、小笠原正勝氏

* 期間中に一部展示替えがございます。

映画鑑賞料金

一般 1,000円 小・中学生 500円

※映画鑑賞券のご提示で企画展もご覧いただけます。 ※販売枚数に達した場合、当日券の販売はございません。

チケット発売日(各月の発売日を色で表しています)

9月の上映作品……………9月1日㊥ 11月の上映作品……………10月17日㊥

10月の上映作品……………9月19日㊥ 12月の上映作品……………11月21日㊥

チケットのお取扱い店/記念館窓口・たらば書房・島森書店(鎌倉店)・上州屋(大船町)

9月21日(月)夜 10:30~14:00 9月22日(火)休 14:00~ 9月23日(水)夜 14:00~

麦秋



1951年/松竹/白黒/35mm/124分
監督:小津安二郎
出演:原節子、淡島千景、笠智衆、佐野周二、三宅邦子、杉村春子

「晩春」「東京物語」と並んで小津の代表作と称される一作。鎌倉を舞台に、その移ろいゆく家族の姿を描く。笠は、原節子演じるいつまでも嫁に行かない妹を笑じる堅物の兄に扮した。キネマ旬報ベストテン第1位。

9月25日(金) 10:30~14:00 9月26日(土) 14:00~ 9月27日(日) 14:00~

長屋紳士録



1947年/松竹/白黒/35mm/72分
監督:小津安二郎
出演:飯田蝶子、青木放屁、笠智衆、河村黎吉、吉川満子、坂本武

前作「父ありき」から5年を経た、小津の戦後第一回作品。終戦後間もない東京・下町を舞台に、長屋の住人たちと拾われてきた迷い子との交流を描く。劇中で笠が披露する「のそきからくりの唄」も一興。

表紙:「東京物語」(1953)©松竹

10月6日(火) 10:30~14:00 10月7日(水) 14:00~ 10月8日(木) 14:00~

一人息子



1936年/松竹/白黒/35mm/83分
監督:小津安二郎
出演:飯田蝶子、日守新一、坪内美子、笠智衆、葉山正雄

小津の初トニー作品。芥川龍之介の「侏儒の言葉」の一部で始まり、親子のすれ違う想いと厳しい現実が静かに結ばれる。笠は志高く地方から上京したものの、夢破れて現在とはなかつ屋を営む元教師役で、彼の出世作となった。

10月9日(金) 10:30~13:30(国) 10月10日(土) 14:00~(国) 10月11日(日) 14:00~(国)

父ありき

※9日13:30~トーク付き特別上映

(ゴス版)東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵
1942年/松竹/白黒/35mm/72分(ゴス版)・87分(国内版)

監督:小津安二郎
出演:笠智衆、佐野周二、水戸光子、坂本武



小津作品で笠が初めて主役を演じた作品。ロシアのゴスフィルムフォンドで見つかった「ゴス版」は、戦時中に公開されたものとされ、音声の状態も良好。一方の「国内版」は、占領下の検閲を経て再公開された再編集版といわれている。小津と笠の代表作を戦時中/占領下という異なる版で比べてみては。

10月20日火 10:30~13:30 10月21日水 14:00~ 10月22日木 14:00~

生きてはみたけれど 小津安二郎伝

※20日13:30~
トーク付き特別上映



1983年/松竹/カラー/35mm/123分
監督:井上和男
出演:岸恵子、司葉子、岡田茉莉子、有馬稲子、
杉村春子、淡島千景、笠智衆、木下恵介、
新藤兼人、川喜多かじ

小津の没後20年に、ゆかりの人々へのインタビューと名場面の数々で構成された貴重な記録映画。冒頭、笠は小津への敬意を込めて語る。北鎌倉の円覚寺や後年、脚本執筆の場とした夢野など、ゆかりの地も紹介される。

10月23日金 14:00~ 10月24日土 14:00~ 10月25日日 14:00~

大人の見る繪本 生れてはみたけれど

※23日14:00~
話付き特別上映



1932年/松竹/白黒・サイレント/35mm/91分
監督:小津安二郎
出演:斎藤達雄、吉川満子、坂本武、
菅原秀雄、突貫小僧、笠智衆

子どもの視点からサラリーマン社会の悲哀を切り取った、サイレント期の小津を代表する一作。原作と潤色にそれぞれクレジットされている「ゼエムス・横」と「煙屋鯨兵衛」の名前はいずれも小津自身。笠は、映写機を操る社員役で出演。

11月3日火夜 10:30~14:00 11月4日水 14:00~ 11月5日木 14:00~

花咲く港



1943年/松竹/白黒/35mm/82分
監督:木下恵介
出演:小沢栄太郎、上原謙、水戸光子、
笠智衆、東野英治郎、東山千栄子

木下監督の才能が高く評価されたデビュー作。南九州のとある小島に造船所を建造しようとした男の運児に扮した二人のベテランが、村人たちの善意によって、次第に良心に目覚めていく。地元の馬車会社の専務・野羽玉を演じた。

11月6日金 14:00~ 11月7日土 14:00~ 11月8日日 14:00~

月は上りぬ

東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵



1955年/日活/白黒/35mm/102分
監督:田中絹代
脚本:斎藤良輔、小津安二郎
出演:笠智衆、山根寿子、杉葉子、北原三枝

日本映画監督協会の企画として、小津自ら、映画化に尽力した本作は、田中絹代の第二回監督作となった。晩秋の古都奈良を舞台に、笠演じる父親と暮らす三姉妹の女心を繊細に描いた芸文大作。

11月17日火 10:30~14:00 11月18日水 14:00~ 11月19日木 14:00~

嵐



1956年/東宝/白黒/35mm/108分
監督:稲垣浩
出演:笠智衆、田中絹代、雪村いづみ、
山本廉、久保明、加東大介

自然主義文学を代表する作家・島崎藤村の同名小説の映画化。笠は仏文大辞典の仕事でライフワークに、男手ひとつで子供たちを育てる父親を演じた。女中役の田中絹代や、娘役の雪村いづみとの共演も見所のひとつ。

11月20日金 10:30~13:30 11月21日土 14:00~ 11月22日日 14:00~

お茶漬の味

※20日13:30~
トーク付き特別上映



1952年/松竹/白黒/35mm/115分
監督:小津安二郎
出演:佐分利信、木暮実千代、淡島千景、
津島恵子、鶴田浩二、笠智衆

戦時中にシナリオを書き上げたものの、事前検閲を通らずお蔵入りになっていたのを、戦後になって設定を変えて書き直した作品。笠は佐分利信の軍隊時代の戦友で、パチンコ屋の主人に扮している。

12月1日火 10:30~14:00 12月2日水 14:00~ 12月3日木 14:00~

家族



1970年/松竹/カラー/35mm/107分
監督:山田洋次
出演:倍賞千恵子、井川比佐志、笠智衆、
前田吟、木下剛志

長崎の小島から北海道の開拓村へ移住する一家を、ほぼオールロケで日本の風景と共に描く。笠は寡黙な老父を演じ、毎日映画コンクール男優助演賞を受賞した。山田洋次監督作品では「男はつらいよ」シリーズの御前様役も印象深い。

12月4日金 14:00~ 12月5日土 14:00~ 12月6日日 14:00~

小津と語る Talking With OZU



1993年/松竹/カラー/35mm/40分
監督:田中康義
出演:ウィム・ヴェンダース、侯孝賢、
アキ・カウリスマキ、ポール・シュレイダー

小津の生誕90年を記念して制作されたドキュメンタリー。世界で活躍する映画作家たちが、小津作品との出会いや想いを語り、小津映画の普遍性が実感できる一本。ヴェンダースは「東京画」、侯孝賢は「珈琲時光」でもオマージュを捧げている。

12月8日火 10:30~14:00 12月9日水 14:00~ 12月10日木 14:00~

秋刀魚の味



1962年/松竹/カラー/35mm/113分
監督:小津安二郎
出演:笠智衆、岩下志麻、佐田啓二、
三上真一郎、岡田茉莉子、加東大介

「晩春」以来繰り返し描かれてきた「娘の結婚」が賞かれた小津の遺作。結婚式の晩、笠演じる父親の姿を捉えたラストシーンの余韻がいつまでも残る。軍艦マーチに乗せた楽しげな敬礼場面も有名。

12月11日金 10:30~14:00 12月12日土 14:00~ 12月13日日 14:00~

東京物語

※13日14:00~
英語字幕付き上映



1953年/松竹/白黒/35mm/135分
監督:小津安二郎
出演:笠智衆、東山千栄子、原節子、
香川京子、山村聰、杉村春子

世界に知られたる映画史上の傑作。広島・尾道から上京した老夫婦と一家をもつその子供たち。小津の家族が紡ぐ物語は、国や時代を越えて観る者を惹きつけてやまない。当時、49歳であった笠が演じた老け役も見事である。

画・音の良好でないものがあります。場合によっては上映素材・作品の変更がありますことをご了承ください。

特別上映 トークイベント付き映画上映

一般：1,500円 小中学生：750円

※チケットのご提示で企画展もご覧いただけます。 ※販売枚数に達した場合、当日券の販売はございません。

『父ありき』上映+トークイベント

チケット発売日
9月19日

10月9日(金) 13:30~ ゲスト: 笠鉄三さん、笠兼三さん(俳優)

笠智衆さんの次男である笠鉄三さんと、笠智衆さんの孫であり、現在、俳優として活躍されている笠兼三さんにお越しいただき、ご家族から見た笠智衆さんの素顔についてお話しいただきます。

『生きてはみたけれど 小津安二郎伝』上映+トークイベント

チケット発売日
9月19日

10月20日(火) 13:30~ ゲスト: 兼松熙太郎さん(日本映画撮影監督協会理事長)

1957年(昭和32年)松竹大船撮影所へ入社後、小津監督作品『彼岸花』『秋日和』などに撮影助手として従事され、本作『小津安二郎伝』の撮影を担当された兼松熙太郎さんにお越しいただき、小津組の撮影現場や、本作撮影の際のエピソードなどをお話しいただきます。

『お茶漬の味』上映+トークイベント

チケット発売日
10月17日

11月20日(金) 13:30~ ゲスト: 長井秀行さん、山下和子さん

小津安二郎監督の甥である長井秀行さんと、姪である山下和子さんにお越しいただき、ともに過ごされた小津安二郎監督との思い出をお話しいただきます。

特別上映〈活弁付き映画上映〉

『大人の見る繪本 生れてはみたけれど』

10月23日(金)

14:00~

一般:1,500円

小中学生:750円

チケット発売日
9月19日



活動弁士
澤登 翠さん
さわと みどり

東京都出身 法政大学文学部哲学科卒業。
故松田春翠門下。弁士の第一人者として国内をはじめフランス、アメリカ等の海外公演を通じて、“弁士”の存在をアピールし高い評価を得ている。「伝統話芸・活弁」の継承者として「活弁」を現代のエンターテインメントとして甦らせ文化庁映画賞他数々の賞を受賞。多彩な語り口で現代劇・時代劇・洋画と様々なジャンルの無声映画の活弁を務めている。
本年「文藝春秋」に掲載された「日本を代表する女性120人」にも選出されている。

シネマセレクション 世界の美味しい映画たち! (映画鑑賞料金:一般 1,000円 小中学生 500円)

チケット発売日
9月19日

10月1日(木) 10:30~ 10月2日(金) 14:00~ 10月3日(土) 12:30~

めぐり逢わせのお弁当



印=仏=独/2013年/カラー/ブルーレイ/105分
監督:リテーシュ・パトラ
出演:イルファーン・カーン、ニムラト・カウル

家庭を顧みない夫の愛情を取り戻そうと、お弁当作りに精を出す主婦・イラ。ある日夫へのお弁当が誤って、妻に先立たれ孤独に暮らす定年近頃のサージャンに届けられてしまったことから、見ず知らずの二人の交流が始まる。カンヌ映画祭での受賞を皮切りに全世界で大ヒットを記録したインド発の料理映画。

10月1日(木) 14:00~ 10月3日(土) 14:00~ 10月4日(日) 10:30~

ある精肉店のはなし



やしほ映画社=ポレポレタイムス社/2013年/
カラー/ブルーレイ/108分
監督:横瀬あや

大阪・貝塚市に暮らす北出さん一家は、家族で牛を育て屠畜し肉を販売する小さな精肉店を営んでいる。活気に溢れ笑いの絶えない一家の生活だが、その奥には被差別部落ゆえの差別と対峙してきた家族の歴史があった。いのちを食べて人は生きるという「生」の本質が温かく染みわたる話題沸騰のドキュメンタリー。

10月2日(金) 10:30~ 10月4日(日) 14:00~

ソウル・キッチン



独=仏=伊/2009年/カラー/35mm/99分
監督:ファティ・アキン
出演:アダム・ボウストウコス、モーリッツ・ブライットロイ

ドイツの大都市ハンブルクにある大衆食堂“ソウル・キッチン”を舞台に、そこに集う様々な人たちの人生模様が交差する。本作でヴェネチア国際映画祭を受賞し、若くして世界三大映画祭を制した若き巨匠、ファティ・アキンが送る、料理に音楽に五感で楽しめるエンターテインメント性溢れる作品。



かまくら世界映画週間〈ドイツ篇〉

— 10月27日(火)~11月1日(日) —

川喜多夫妻の“映画で世界を結ぶ”をテーマに、各国の映画を紹介する「かまくら世界映画週間」。今回は〈ドイツ篇〉を開催します。期間中は、映画上映やトークイベントを実施、詳しくは別途お知らせします。

Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

TEL: 0467-23-2500

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館) 10月13日、11月24日

※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
主催/鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者 川喜多・KBSグループ
HP: <http://www.kamakura-kawakita.org>

鎌倉市川喜多映画記念館



チケット取り扱いお問い合わせ先: ◆たらば書房 0467-22-2492 ◆島森書店 鎌倉店 0467-22-0266 ◆上州屋(大船駅前の文房具店) 0467-43-1000